

明日につなげる水産資源管理

〔概要〕

農林漁業金融公庫の発行する月刊誌への寄稿論文。日本の水産指標は、国内生産、就業者数、自給率とどれをとっても良い数値はないが、人為的にコントロールできない部分が多いためか水産関係者は常に楽観的である。今般策定された水産基本計画では、資源管理をより徹底させるために、従来の TAC 制度に加えて TAE 制度を導入し、また、休漁者への所得補償措置も導入した。資源管理を遵守させることが管理手法の精度向上にもつながる。